

平成 2 2 年第 2 回

羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会会議録

平成 2 2 年 8 月 1 7 日 開会

平成 2 2 年 8 月 1 7 日 閉会

羽咋郡市広域圏事務組合議会

## 目 次

第 1 日 平成 2 2 年 8 月 1 7 日 火曜日

開会・開議（午前 1 0 時 4 分）	1
諸般の報告	1
補充議員の議席指定	2
会期の決定	2
会議録署名議員の指名	2
補充議員の総務厚生常任委員会委員の選任	2
議会運営委員会委員の補充選任	2
なぎさ特別委員会委員の補充選任	3
組合長提出議案の上程、説明	3
議案説明 山辺組合長	3
質疑・質問	9
北 信幸君	9
答弁 組合長	1 0
消防長	1 2
北 信幸君（再質問）	1 3
答弁 組合長	1 4
委員会付託	1 4
決算特別委員会の設置と委員の選任	1 5
休 憩（午前 1 0 時 5 5 分）	1 5
再 開（午後 0 時 5 8 分）	1 6
委員会組織結果報告	1 6
委員長報告	1 6
総務厚生常任委員会委員長	1 6
なぎさ特別委員会委員長	1 7
質 疑	1 7

討 論	-----	1 7
採 決	-----	1 7
総務厚生常任委員会並びに議会運営委員会所管事務の閉会中継続調査	-----	1 8
閉議・閉会（午後 1 時 4 分）	-----	1 8
（参 照）		
会期日程表	-----	1 9
議事日程表	-----	2 0
諸般の報告	-----	2 1
会議に付した事件	-----	2 1
説明のため出席した者の職氏名	-----	2 2
委員会委員選任名簿	-----	2 3
議案付託表	-----	2 4
委員会審査結果	-----	2 6
委員会正副委員長当選結果報告	-----	2 8
議決一覧表	-----	2 9
議会選挙結果等一覧	-----	3 0
閉会中の継続調査申出書	-----	3 1
職務のために出席した事務職員	-----	3 2
署名議員	-----	3 2

平成22年第2回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会会議録

平成22年8月17日(火曜日) 午前10時4分開会

出席議員(12名)

1番 守田 幸則	5番 北本 俊一	9番 北 信幸
2番 新田 義昭	6番 塩谷 久司	10番 中村 孝清
3番 櫻井 俊一	7番 中村 重幸	11番 浅野 俊二
4番 久木 拓栄	8番 山本 辰榮	12番 稲村 幸雄

---

開 会

議長(浅野俊二君) ただ今から、平成22年第2回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会を開会いたします。

開 議

議長(浅野俊二君) 本日の会議は全員出席であります。よって、これより本日の会議を開きます。本日の会議の議事日程は、お手元に配付の議事日程表のとおりであります。

諸 般 の 報 告

議長(浅野俊二君) この際、諸般の報告を申し上げます。

一つには、羽咋市議会から選出されておりました議員のうち、6番 松生喜代志議員から本職に対し、平成22年3月3日付けにて、辞職願の提出があり、同3月15日付けで本職において許可をいたしました。これに伴い、組合議会議員が1名欠員となり、あわせて総務厚生常任委員会委員及び議会運営委員会委員並びになぎさ特別委員会委員が、それぞれ欠員となっております。

二つには、この欠員に伴い、同3月16日に開催された羽咋市議会定例会において、当組合議会議員に塩谷久司議員が選出されました。

ここで、羽咋市議会から、あらたに選出されました議員を御紹介申し上げます。

選出されました議員は、塩谷久司君であります。塩谷議員におかれましては、広域行政発展のため、今後ますます御尽力されんことを御期待申し上げ、以上ご報告いたします。

また、その他の諸般の報告につきましては、お手元に文書で配付しておりますの

で、ご了承をお願いいたします。

#### 補充議員の議席指定

議長（浅野俊二君） それでは、これより日程に入ります。

日程第 1、補充議員の議席指定を行います。補充議員の議席指定については、本職において指定いたします。議席は、ただいまご着席のとおりといたします。

#### 会期の決定

議長（浅野俊二君） 日程第 2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日 1 日といたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（浅野俊二君） 御異議なしと認めます。よって、会期は本日 1 日と決定いたしました。

#### 会議録署名議員の指名

議長（浅野俊二君） 日程第 3、会議録署名議員の指名を行います。会議録署名議員に山本辰榮君、北信幸君、中村孝清君、以上 3 名の方々を指名いたします。

#### 補充議員の総務厚生常任委員会委員の選任

議長（浅野俊二君） 日程第 4、総務厚生常任委員会委員の補充委員の選任を議題といたします。

お諮りいたします。補充議員の総務厚生常任委員会委員の選任につきまして、委員会条例第 5 条第 1 項の規定により、お手元に配布の委員名簿のとおり指名いたしたいと思えます。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（浅野俊二君） 異議なしと認めます。よって、委員名簿のとおり選任する事に決定いたしました。

#### 議会運営委員会委員の補充選任

議長（浅野俊二君） 日程第 5、議会運営委員会委員の補充選任を議題といたします。

お諮りいたします。議会運営委員会委員の補充の選任につきましては、委員会条例 第 5 条第 1 項の規定により、お手元に配布の委員名簿のとおり指名いたしたいと

思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(浅野俊二君) 異議なしと認めます。よって、委員名簿のとおり選任する事に決定いたしました。

なぎさ特別委員会委員の補充選任

議長(浅野俊二君) 次に、日程第6、なぎさ特別委員会委員の補充選任を議題といたします。

お諮りいたします。なぎさ特別委員会委員の補充選任につきましては、委員会条例第5条第1項の規定により、お手元に配布の委員名簿のとおり指名したいと思います。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

議長(浅野俊二君) 異議なしと認めます。よって、委員名簿のとおり選任する事に決定いたしました。

組合長提出議案の上程、説明

議長(浅野俊二君) 日程第7、これより組合長から提出のありました議案第11号から議案第15号、及び報告第1号から報告第6号、並びに認定第1号から認定第3号までを一括して議題といたします。

提案理由の説明を求めます。山辺組合長

〔組合長山辺芳宣君 登壇〕

組合長(山辺芳宣君) 皆さん、おはようございます。平成22年第2回組合議会定例会が開会されるにあたり、組合行政の当面する課題及び諸般の状況と提出した議案について、ご説明申し上げ、議員各位をはじめ圏域住民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

はじめに、羽咋郡市広域圏事務組合議会議員に新たになりました塩谷久司議員におかれましては、広域行政発展のため、今後ともますます温かいご指導、ご尽力を賜りますようお願いを申し上げます。

それでは、まず、組合の新規埋立処分場建設計画についてであります。

この計画は、平成17年の基本構想策定以来、検討・協議を重ねてまいりましたが、今般、建設予定地を選定したことから、必要な調査を行うことについて、

地元の理解を得られるよう努めてまいる所存であります。

建設計画では、まず、本年度に地質調査及び測量・基本設計を行い、また、本年度と来年度の2ヶ年事業として生活環境影響調査を行う予定であり、本定例会に提出いたします一般会計補正予算第1号で、衛生費の増額をお願いするものでございます。

次に、消防業務についてご報告いたします。

本年に入り10件の火災が発生しており、そのうち建物火災は6件発生し、前年同期に比べ、火災件数で7件、建物火災で3件減少しておりますが、損害額につきましては、残念ながらほぼ同額の8,733万1千円となり、貴重な財産が失われております。

救急件数は、梅雨明け早々からの猛暑続きで、熱中症患者の搬送が多く見られ、増加傾向にあります。全国や県下でも熱中症による死者が発生している中、これまで以上の救急医療態勢の充実を進めてまいります。

本年度は、宝達志水消防署の高規格救急車及び志賀消防署の普通ポンプ自動車を更新いたします。

高規格救急車には、最新の高度医療資機材を導入し、医療機関へ正確な患者情報の伝達と迅速な救急処置活動を行ってまいります。

普通ポンプ自動車では、資機材の軽量、小型化を図り、火災現場における機動力の充実につなげてまいります。

また、救急要請時に意識、呼吸、脈拍がない、いわゆる心肺停止状態の場合、ポンプ車と救急車が同時出場する消防隊による救急活動支援（PA連携）の運用により、迅速かつ高度な救急救命処置が可能となり、刻々変化する傷病者の様態に対応するとともに、救命率の向上に努めてまいります。

火災予防におきましては、巡回広報、防火指導及び救命講習の機会を利用し、引き続き住宅用火災警報器の設置促進に努めてまいります。

次に、公立羽咋病院の改革プランの進捗状況についてであります。

平成20年度に策定いたしました改革プランに基づき、経営の効率化や経営形態の見直しを進めており、先の組合議会全員協議会において、公立羽咋病院の地方公営企業法の全部適用化について、その方針や日程を説明申し上げ、理解を賜

ったところであります。

全部適用化については、組合規約の一部変更に伴い、構成市町の議会の議決が必要となるため、8月2日付けで構成市町に対し、組合規約の変更に係る議会の議決について依頼をしたところであります。

また、改革プランにおいても課題となっておりました、看護師の確保対策として、看護師等修学資金支援制度の導入をしたいと考えており、看護師等修学資金貸与条例の制定について議案を提出いたしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

なお、今年度の病院耐震増改築事業につきましては、現在、検討委員会を立ち上げ、実施設計に取り組んでいることをご報告申し上げます。

以上申し上げます、提出議案の説明に入ります。

本定例会に提出する案件は、予算1件、条例2件、財産の取得2件、報告6件、決算認定3件の計14件であります。

まず、議案第11号、平成22年度一般会計補正予算第1号について、ご説明いたします。

冒頭でも申し上げましたが、今回の補正は、歳出では、あらたな埋立処分場を建設するために必要な生活環境影響調査、測量・基本設計などの委託費を追加し、圏域の一般廃棄物の適正処理と廃棄物循環型社会の構築を進めるものであり、歳入では、市町分担金及び国交付金の追加により、歳入歳出それぞれ6千万円の増額補正を行うもので、これにより、一般会計の総額を26億4,760万円に定めようとするものであります。

また、既設埋立処分場の堰堤の安定確保のため、定点測量を実施し、安定度の確認を行う経費並びに住民に配布するごみパンフレットの印刷経費を計上いたしました。

このほか、生活環境影響調査業務に係る事業費の債務負担行為についても今回の補正で追加をお願いするものであります。

次に、議案第12号、看護師等修学資金貸与条例の制定につきましても冒頭で申し上げましたとおり、公立羽咋病院において、看護師等の継続的な確保を図るため、看護学校在学中の者に修学資金を貸与し、卒業後、当病院に勤務した者に

は修学資金の返還を免除することとし、今回、あらたに制定しようとするものであります。

議案第13号、消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正につきましては、新志賀消防署の住所、地番の確定により、志賀町西山台1丁目1番地に変更しようとするものであります。

議案第14号、財産の取得につきましては、志賀消防署に配備する普通消防ポンプ自動車を更新するものであり、去る7月28日に指名競争入札を行い、4者による入札の結果、株式会社モリタ富山営業所が2,299万3,501円で落札いたしました。本契約は、予定価格が2千万円以上でありますので、地方自治法及び組合条例の規定に基づき、議会の議決をお願いするものであります。

議案第15号、同じく財産の取得につきましても、宝達志水消防署に配備する高規格救急車を更新するもので、去る8月9日に指名競争入札を行い、3者による入札の結果、石川トヨタ自動車株式会社が3,059万5,580円で落札いたしました。本契約も予定価格が2千万円以上でありますので、議会の議決をお願いするものであります。

次に、報告第1号、平成21年度一般会計補正予算第4号の専決処分につきましては、事業費の確定と決算を見込んで、歳入歳出それぞれ3,002万1千円を減額いたしました。

歳出では、各費目において、事務事業の精算と入札差金など不用額を減額し、歳入では、財産売却収入などの追加により、市町分担金3,385万3千円を減額いたしました。

これにより、予算総額を26億4,027万5千円と定め、3月31日付けで専決処分を行ったものであります。

報告第2号、ふるさと振興事業特別会計補正予算第2号の専決処分については、決算を見込んで、歳入歳出それぞれ5千円を追加いたしました。

歳出では、不用額の減額と運用財産積立金を追加し、歳入では、預金利子等を追加いたしました。

これにより、予算総額を2,446万7千円と定め、3月31日付けで専決処分を行ったものであります。

報告第 3 号、公立羽咋病院事業会計補正予算第 2 号の専決処分についてであります。

まず、収益的収支では、決算を見込み、それぞれ 9,804 万 5 千円を増額いたしました。

収入では、入院及び外来収益のほか公衆衛生活動収益などを増額し、支出では、修繕に引き当てるための修繕費や材料費などの増額と不用額の減額により、予算総額を 31 億 2,725 万円と定めたものであります。

また、資本的収入では、企業債の借入金と器械備品購入に係る補助金、合わせて 67 万 6 千円の減額により、収入総額を 4 億 4,660 万 7 千円とし、資本的支出では、器械備品購入費 326 万円の減額により、支出総額を 5 億 8,125 万 7 千円と定めたほか、過年度分損益勘定留保資金等から補てんする額を 258 万 4 千円減額し、1 億 3,465 万円と定め、3 月 31 日付けで専決処分を行ったものであります。

報告第 4 号及び報告第 5 号、職員の育児休業等に関する条例並びに職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正の専決処分につきましては、地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴う条例の改正であり、育児や介護を行う職員の支援を推進するため条例の一部を改正し、6 月 29 日付けで専決処分を行ったものであります。

報告第 6 号、職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正の専決処分につきましては、労働基準法の一部を改正する法律が平成 22 年 4 月 1 日から施行されたことに伴い、組合条例においても、「給与を受けながら、職員団体のためその業務を行い、又は活動することができる期間」に月 60 時間を超える時間外勤務について代休時間を付与する制度を追加し、6 月 29 日付けで専決処分を行ったものであります。

認定第 1 号から認定第 3 号までにつきましては、平成 21 年度の組合一般会計、ふるさと振興事業特別会計の歳入歳出決算及び公立羽咋病院事業会計決算について、地方自治法及び地方公営企業法の規定に基づき議会の認定をお願いするものであります。

認定第 1 号、組合一般会計の決算では、歳出で、人件費の抑制やごみ処理方法

の見直しなどのほか、市町広報を通じたごみ減量化施策の推進により経費の節減に努めた一方、志賀町の全面的な支援により新志賀消防署の建設を行いました。

また、歳入では、施設の有効利用による新規財源の確保などにより、市町分担金で前年度に比べ約1億2千万円の縮減を図りました。

その結果、一般会計の決算額は、歳入総額26億4,049万8千円、歳出総額26億3,545万5千円となり、収支差引額504万3千円を平成22年度へ繰り越しいたしました。

続いて、認定第2号、ふるさと振興事業特別会計歳入歳出決算では、歳出で、中能登地方拠点都市地域整備推進協議会への拠出により、中能登地域の活性化と能登空港の支援に取り組んだほか、ふるさと基金への積み立てを行いました。

また、歳入では、効果的な地方債券の運用を行ったことで前年度に比べ1,400万円余りの利子の増収が図られ、これにより決算額は、歳入総額2,446万7千円、歳出総額2,436万3千円となり、収支差引額10万4千円を平成22年度へ繰り越しいたしました。

認定第3号、公立羽咋病院事業会計決算では、外来延べ患者数については、前年度と同程度でありましたが、入院延べ患者数の増加などにより、収益的収入31億2,245万8千円に対し、収益的支出31億1,927万円となり、多くの公立病院が経営に苦しむ中、純利益318万円余りを計上することができました。

また、資本的支出では、磁気共鳴画像診断装置(MRI)の高規格化など最新医療機器の購入のほか、企業債償還金などで5億8,125万6千円を支出し、資本的収入の不足額については、過年度分損益勘定留保資金等で補てんし、決算の調製を行いました。

以上が各会計の決算状況であります。

以上をもって提出いたしました案件の説明を終わります。

詳細につきましては、各委員会において説明をいたしたいと存じます。

何とぞ、よろしくご審議のうえ、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます。以上であります。

議長(浅野俊二君) これにて提案理由の説明を終わります。

## 質 疑 ・ 質 問

議長（浅野俊二君） 日程第8、これより組合長提出案件に対する質疑並びに広域行政一般に対する質問を行います。質疑、質問の通告がありますので発言を許します。北信幸君

〔北信幸君 登壇〕

北信幸君 質問の機会を得ましたので、当羽咋郡市広域圏事務組合の病院や消防署との専門職員の確保、並びに離職防止と待遇改善について質問をさせていただきます。ご承知のとおり全国的には有効求人倍率や失業率の改善が進んでいないとの認識であります。特に看護師や消防士の勤務時間は他の職種に比べても夜勤や交代勤務があり、不規則であり、特に看護師の場合は育児、あるいは家庭の事情もあり、やむを得ず転職や退職の道を選ぶ人もいると聞いております。また消防士の場合は勤務中ではありますけれども、研修を受ける機会を与えなければなりません。人員に余裕がなければ、所要の研修すら受講できないのではないのでしょうか。私が本年2月24日、総務厚生常任委員会において、一般職の給与の特例に関する条例の一部の改正について、一部改正と言いながら、給与削減は以前から行われている継続であるということで、私はこの条例案について反対したものであります。その後ですけれども、県内の広域事務組合、また消防署などの調査をいたしましたところ、当組合の給料については、県内でも低い所に位置しているわけでございます。それにもかかわらず、なおかつ4%のカットということで、職員には大変厳しい生活をさせているのではないのでしょうか。勤勉意欲を欠かせ、不安定な中にも自らの生命を投げ出し、圏域住民の生命、財産、安全、安心を職員が一丸となって頑張っている姿を見ると、本当に申し訳ないというような思いでございます。本組合を構成する市町においては、平成19年度以来、三位一体改革や市町村合併による地方交付税の減額による財源不足が生じている状態ではありますが、各市町村のご理解を得て、いつ終わるかもわからない給料カット、この状態をいつまで続けていくのか、またいつ復元するのか。組合長のお考えをお聞きしたいと思います。

二点目でございますけれども、消防職員の採用計画と職員の定数に関する条例中、消防職員の定数110人について消防長にお聞きをいたします。近年の特殊災害や自然災害は全国的にも大規模化し、激化災害の傾向にもあり、尊い人命や財産

が失われている状態にある。また、高齢化社会の進展に伴って、救急出動の件数が増加傾向にもある中、生命や財産に関わる有事の際に、昼夜を問わず我々の身近にいち早く駆けつけてくれるのは消防署員だと思っております。当組合の条例定数は110名となっておりますが、ここ近年は100名を切る状況下で推移し、今年度は4名を採用し、やっと103名となったと記憶しておるところでございます。消防職員には近年多くの分野での必要な訓練や研修が受講できる措置をとらなければならないことになっております。また年次休暇が職務に支障のない範囲で自由に取れるような勤務態勢となるよう、ある程度の余裕を持たせなければならないのではないのでしょうか。また基準に沿った適正な車輛を配置し、適正な人員の配置をし、地域住民の安心と安全のため24時間、365日、現場に立ち向かって出勤する消防職員の確保が必要だと思います。今現在の充足率と今後の配置採用計画はどのようにお考えなのか具体的な対応についてお聞かせいただければと思います。

最後に羽咋病院について、近年は職員の努力の甲斐あっていい決算を組んでおります。また来年度からは全適という運びですので、今後も地域の人々から選ばれるだけでなく、医師や看護師からも選ばれる病院を目指して、質の高い医療の提供に取り組んでいただきたいと思っております。大変、財政の、財源の厳しい中ではございますけれども、2点の質問とも人件費が嵩むものですが、どうぞ前向きな答弁をお願いいたしまして、私の質問を終わります。

議長（浅野俊二君） 答弁を求めます。山辺組合長

〔組合長山辺芳宣君 登壇〕

組合長（山辺芳宣君） それでは、北信幸議員の質疑及び一般質問の答弁をさせていただきます。大きく分けて2点であります。まず最初に職員給与4%カットの廃止についてであります。北議員のご質問にお答えをいたしたいと思っております。

北議員ご指摘のとおり、当組合では平成19年度に、医師を除く職員の給与の2%カットを行い、20年度から本年度まで3年間は4%カットを実施しております。

通算4年間も継続して職員に協力をお願いして参りましたが、この公務員の給与削減問題については、賛否両論があるものと私自身、承知をしているところでございます。

この賛否両論がある中で、私といたしましては、ここ数年の財政状況により市町では住民にもご負担を申し上げていることから、やむを得ず、苦渋の選択をしたものでございます。

議員ご承知のように、行政は住民からの税を財源としていることから、最小経費で最大の効果をもたらすことが求められております。

このため、組合を構成する市や町では、行財政改革として聖域無き費用の削減を図るため、組織の見直しや事務事業の費用点検、経常経費の削減、更には、職員定数の削減、給与カットなどの対策を講じております。

もちろん当組合においても、これまでも徹底した経営の効率化、高度化を図り、結果として市町の分担金の削減となるよう努力を重ねて参りましたが、これに加えて、ここ数年は更に職員に給与カットで協力をお願いしているものでございます。

ご質問の中にありました職員給与の実態でございますが、平成21年の組合職員の平均給料月額が301,400円でございますが、同じく病院と消防を抱えるお隣の七尾鹿島広域圏は、305,500円であり、比較すると当組合は、4,100円少ない月額であります。

なお、平成21年度の4%給与カットにより削減した実額は、一般会計で31,109千円、病院会計で45,017千円、合計で76,126千円となっております。

組合といたしましては、決して経費を減額することを主目的に、安易に給与カットを選択しているものではございません。

その年度の予算編成において、様々な財政対策を講じ、予算調整の最後のところで、構成市町の給与措置状況を検討して、この方法を取らせて頂いたものでございます。

従いまして、具体的に何年度まで行うという計画があって実施しているものではありませんので、構成の市町の財政状況が少しでも明るい見通し、兆しが見えましたら、適切に元に復したいと考えております。

議会の皆様には、この問題につきまして、どうぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

次に救急出動時において、火災等が発生した場合の出動の現状についての質問で

あります。救急出動時において火災等が発生した場合に、高額な車両を置いたままの出動になっていないのか。現状はどうかというご質問でありました。

北議員ご承知の通り、各消防署及び分署には、救急車、ポンプ車、化学車、又はタンク車、はしご車、救急工作車等を配備しております。

各署所の当務体制は、多い署所で9人、少ない署所で6人でありまして、建物火災には2台の消防車が出動する計画になっており、最低でも6人が必要であります。

救急事案が発生すると3人が出動し、少ない署所では3人しか残らないため、火災出動が重なると1台の消防車しか出動できませんが、火災、救助等の災害には、他の署所から初動での応援出動する警防計画になっております。

また、災害規模に応じて、参集した非番職員が待機中の消防車で応援出動する体制を取っております。

消防は、その施設及び人員を最大限に活用することが任務であり、消防職員適正配置計画に基づき、職員の補充を図り、圏域住民の負託に応えるべく万全を期す所存であります。

私からの答弁は以上とさせていただきます。このあと、消防長が説明いたしますので宜しくお願い申し上げます。以上であります。

議長（浅野俊二君） 田頭消防長

〔消防長田頭善彦君 登壇〕

消防長（田頭善彦君） それでは、北議員の質問についてお答えいたします。

現在の消防職員の充足率と年次休暇取得率についての質問であります。条例定数110人に対する充足率は、実員数103人で93.6%となっております。

県下消防本部では1消防本部だけが定数実員を満たしており、各消防本部とも財政事情の厳しい折、定数実員の確保に苦慮しているのが現状であります。

次に、年次休暇の取得の実態であります。平成21年中の実績で、日勤者については3.4日、隔日勤務者は0.4日、全体で見ますと0.8日となり、ほとんどの職員が取得しておらず、県下消防本部では最低の取得となっているのが現状であります。

隔日勤務者においては、指定週休日や非番日を有効に活用していることも取得日

が低い理由と思われます。ちなみに、取得率の高い本部では日勤者10.7日、隔日勤務者は11.5日であり、有休取得率は50%となっております。

次に、定員に不足する要員の配置についての質問であります。今年度を含め、向こう5年間で20数名の退職者が見込まれることから、適正配置計画に基づく消防職員の採用を図りたいと思っております。

具体的には、今年度は退職補充1人、計画採用3人と合わせて4人採用いたしまして、実員数も103人となりました。23年度については、退職補充4人、計画採用2人と合わせて6人の採用を計画し、実員数105人とする計画で、更に、24年度は退職補充1人、計画採用3人と合わせて4人を採用し、実員数108人体制になるよう計画しております。

署所における配置人員も、2人から3人を増員する計画で、更なる各種災害時における迅速な初動体制の確立、及び若年職員が多くなる中で惨事ストレスによる精神的なケアを図りながら、圏域住民の負託に応える所存でありますので、議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。以上答弁とさせていただきます。

北信幸議員 議長

議長（浅野俊二君） はい、どうぞ。

〔北信幸君 登壇〕

北信幸議員 山辺組合長に再質問するわけでございますけれども、公務員法と言われてまして、痛し痒しなご答弁をいただきました。承知の上でございますけれども、これから予算編成に入っていくわけでございますけれども、やってみないと分からないというような言い方で私は受け取ったんですけれども、そうでなくて、あの出来るものならば4%を2%、あるいは1.5%まで下げて、もう1年間、あるいは2年間というような、正直な話、答弁がいただきたいなと思っておったわけでございます。あたってみないと分からないような答弁じゃなくて、やっぱり職員そのものも生活に計画を立てながら、やっぱりこうして皆さん生活しているわけでございますので、七尾鹿島に比較されましたけれども、今じゃこの交通網も発達した中、隣の加賀地区の給料態勢を見ても、当組合はかなり本当に低いところにあるんです。それはイコールそういったような金額じゃなくてもいいんですけれども、せめて低い給与体制の中で元に戻してあげていただきたいなというのが私の思いであっ

て、できれば来年度からは2%にする。あるいは1年間我慢していただくというような答弁を私はいただきたいなと思っておったんです。あの消防の人員については分かりましたけれども、それに近いようにどうか努力して円滑な人員配置をしていただきたいなとこのように思うわけでございます。組合長どうか一つまたよろしくお願いしたいと思います。

議長（浅野俊二君） 答弁を求めます。山辺組合長

〔組合長山辺芳宣君 登壇〕

組合長（山辺芳宣君） それでは、北信幸議員の再質問についてお答えいたします。個人的な気持ちとすれば、北議員の気持ちも私の気持ちも一致しておるわけで、私もこれをいつもでも引っ張るといことはやはり如何なものかなということ、1日も早く現在のマイナス4%をやはり修正と言いますか、改正と言いますか、そういう方向に持って行きたいという気持ちは十分持っております。ただまあ、昨日今日のこの日本のGDPが0.1%しか改善しなかったとか、大変まだ経済状況の先行きが非常に厳しいものがありますし、それから国の予算編成もこれから12月の年末に向けていろいろと審議されるということで今のところは前年度並みだということで伺っておりますが、これもこの国会で最終的に決定する数字が出てこないと私どもも分からないわけでございまして、こういう情勢を現在自分ながら、やはり経済情勢はどうなるのか、予算編成はどうなるのかということを経済的に現在検討しているところでございます。私としても、北議員の意思を十分尊重して今後とも前向きに検討していきたいということだけ申し上げて、具体的な数字を申し上げるまでにはちょっと時間をいただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。以上です。

議長（浅野俊二君） それではこれにて質疑及び一般質問を終結いたします。

委員会付託

議長（浅野俊二君） 日程第9、ただ今議題となっております案件につきましては、お手元に配布してあります議案付託表のとおり、総務厚生常任委員会並びになぎさ特別委員会に付託いたします。よって、休憩中に委員会を開催し、付託された案件の審査をお願いいたします。

## 決算特別委員会の設置と委員の選任

議長（浅野俊二君） 日程第10、次に決算認定の案件を付託するため、決算特別委員会の設置と委員の選任について、お諮りいたします。

組合長提出の認定第1号から第3号までは、委員6人で構成する決算特別委員会を設置し、これに付託のうえ、閉会中の継続審査とすることにいたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」との発言あり）

議長（浅野俊二君） 御異議なしと認めます。したがって、決算特別委員会の設置と継続審査については以上のとおり決定いたしました。

お諮りいたします。ただ今設置されました決算特別委員会の委員に、中村孝清君、新田義昭君、北本俊一君、守田幸則君、山本辰榮君、稲村幸雄君以上、6名の方々を指名いたしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」との発言あり）

議長（浅野俊二君） 御異議なしと認めます。よって、指名のとおり選任することに決定いたしました。

それでは、認定案件の3件は、決算特別委員会に付託いたしますので、次の議会定例会までに審査をお願いいたします。ここで、委員会開催のため、暫時休憩いたします。

午前10時55分 休憩

午後0時58分 再開

出席議員（12名）

1番 守田幸則	5番 北本俊一	9番 北信幸
2番 新田義昭	6番 塩谷久司	10番 中村孝清
3番 櫻井俊一	7番 中村重幸	11番 浅野俊二
4番 久木拓栄	8番 山本辰榮	12番 稲村幸雄

---

再 開

議長（浅野俊二君） 休憩前に引き続き、これより会議を開きます。

委員会組織結果報告

議長（浅野俊二君） ここで、諸般の報告をいたします。先ほど開催されましたなぎさ特別委員会におきまして、欠員となっておりました副委員長に、塩谷久司君が互選されましたので御報告いたします。また、本日設置されました決算特別委員会で、委員長に中村孝清君、副委員長に山本辰榮君がそれぞれ互選されましたので、御報告いたします。

委員長報告

議長（浅野俊二君） 日程を続けます。

日程第11、これより組合長から提出されております議案第11号から議案第15号及び報告第1号から報告第6号までを一括して議題といたします。本件に対する総務厚生常任委員会及びなぎさ特別委員会の審査の経過と結果について委員長の報告を求めます。総務厚生常任委員会委員長、山本辰榮君。

〔総務厚生常任委員会委員長 山本辰榮君 登壇〕

総務厚生常任委員会委員長（山本辰榮君） 総務厚生常任委員会の委員長報告を行います。総務厚生常任委員会に付託されました案件につきまして、さきほど、委員会を開催し審査いたしましたので、その経過と結果について御報告を申し上げます。

当委員会に付託されました案件は、議案第11号から議案第15号及び報告第1号から報告第6号までの計11件であります。

以上の案件について、詳細にわたり慎重に審査いたしました結果、すべての案

件について、いずれも原案のとおり可決及び承認すべきものと決しました。よって、本会議におかれましても、当委員会同様の御決議を賜りますようお願いを申し上げます。総務厚生常任委員会の報告といたします。

議長（浅野俊二君） なぎさ特別委員会委員長、守田幸則君。

〔なぎさ特別委員会委員長守田幸則君 登壇〕

なぎさ特別委員会委員長（守田幸則君） 委員長報告 なぎさ特別委員会に付託されました案件につきまして、さきほど委員会を開催し審査いたしましたのでその経過と結果についてご報告申し上げます。

当委員会に付託されました案件は報告第1号の1件であります。

付託案件について詳細にわたり慎重に審査いたしました結果、原案のとおり承認すべきものと決しました。よって、本会議におかれましても当委員会同様の御決議を賜りますようお願いを申し上げます。なぎさ特別委員会の報告といたします。

議長（浅野俊二君） 以上で委員長の報告を終わります。

質 疑

議長（浅野俊二君） これより各委員長の報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

議長（浅野俊二君） 質疑はないものと認め、質疑を終結いたします。

討 論

議長（浅野俊二君） これより、討論に入ります。

討論の通告がありませんので、討論を終結いたします。

採 決

議長（浅野俊二君） これより、採決に入ります。

本件に対する委員長の報告はいずれも原案のとおり可決及び承認であります。

お諮りいたします。本件は委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（浅野俊二君） 御異議なしと認めます。よって、本件は委員長報告のとおり、可決及びに承認とすることに決定いたしました。

総務厚生常任委員会並びに議会運営委員会所管事務  
の閉会中継続調査

議長（浅野俊二君） 次に、日程第12、総務厚生常任委員会委員長並びに議会運営委員会委員長からお手元に配付してありますとおり、所管事務調査について閉会中の継続調査の申し出がありましたので議題といたします。

お諮りいたします。本件は、委員長の申し出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

議長（浅野俊二君） 御異議なしと認めます。よって、本件は委員長の申し出のとおり決定いたしました。

閉 議 ・ 閉 会

議長（浅野俊二君） 以上をもちまして、本日の会議の議事日程は、すべて終了いたしました。よって、本日の会議を閉じ、平成22年第2回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会を閉会いたします。

皆様、ごくろうさまでした。

午後1時4分 閉会

会期日程表

平成 2 2 年第 2 回羽咋郡市広域圏事務組合議会定例会会期日程表

(会期 1 日)

月日	本会議・ 委員会の別	開議時刻	議 事	場 所	
8月17日 (火)	委員会	(午前9時30分：議会運営委員会)		第1委員会室	
	本会議	午前10時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会</li> <li>・補充議員の議席の指定</li> <li>・会期の決定</li> <li>・会議録署名議員の指名</li> <li>・総務厚生常任委員会委員の補充選任</li> <li>・議会運営委員会委員の補充選任</li> <li>・なぎさ特別委員会委員の補充選任</li> <li>・議案上程、説明、質疑、一般質問、委員会付託</li> <li>・決算特別委員会の設置、同委員会委員の選任、同委員会付託</li> </ul>	議場	
	委員会	本会議休憩時		総務厚生常任委員会	302会議室
		常任委員会終了後		なぎさ特別委員会	302会議室
		なぎさ特別委員会終了後		決算特別委員会	第1委員会室
		決算特別委員会終了後		議会運営委員会	第1委員会室
本会議	委員会終了後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織報告（なぎさ特別委員会副委員長、決算特別委員会正副委員長）</li> <li>・委員長報告</li> <li>・質疑、討論、採決</li> <li>・継続調査の申し出</li> <li>・閉会</li> </ul>	議場		

質疑質問締切 平成 2 2 年 8 月 1 0 日 ( 火 ) 午後 5 時

討論通告締切 平成 2 2 年 8 月 1 7 日 ( 火 ) なぎさ特別委員会終了時

## 議事日程表

( 議会運営委員会を議会開会前に開催 )

( 本会議開会 )

日程第 1 補充議員の議席の指定

日程第 2 会期の決定

日程第 3 会議録署名議員の指名

日程第 4 総務厚生常任委員会委員の補充選任

日程第 5 議会運営委員会委員の補充選任

日程第 6 なぎさ特別委員会委員の補充選任

日程第 7 組合長提出議案第 1 1 号から議案第 1 5 号まで及び報告第 1 号から報告第 6 号まで並びに認定第 1 号から認定第 3 号までの上程、説明

日程第 8 組合長提出議案第 1 1 号から議案第 1 5 号まで及び報告第 1 号から報告第 6 号まで並びに認定第 1 号から認定第 3 号までについての質疑、広域行政一般についての質問

日程第 9 組合長提出議案 1 1 号から第 1 5 号まで及び報告第 1 号から報告第 6 号までについての委員会付託

日程第 10 決算特別委員会の設置、同委員会委員の選任及び組合長提出認定第 1 号から認定第 3 号までについての決算特別委員会付託

( 休憩 ) 委員会審査及び組織のため、総務厚生常任委員会、なぎさ特別委員会、決算特別委員会を順次開催、決算特別委員会終了後、議会運営委員会を開催

( 本会議再開 )

組織報告 なぎさ特別委員会副委員長、決算特別委員会正副委員長互選

日程第 11 組合長提出議案第 1 1 号から第 1 5 号まで及び報告第 1 号から報告第 6 号までについての委員長報告、質疑、討論、採決

日程第 12 総務厚生常任委員会及び議会運営委員会所管事務の閉会中の継続調査の申し出

( 本会議閉会 )

## 諸般の報告

### (1) 公立羽咋病院の資金不足比率報告について

平成22年7月26日付けで組合長から、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び同法第22条第1項の規定により、平成21年度公立羽咋病院事業会計について資金不足が無い旨の報告を受けた。

### (2) 監査委員の検査結果報告について

平成22年7月末までに実施された一般会計、ふるさと振興事業特別会計及び公立羽咋病院事業会計の例月出納検査については、出納関係諸帳簿と照合した結果、予算の執行状況及び現金の保管について適正に執行されている旨の報告を受けた。

## 会議に付した事件

組合長提出議案第11号	平成22年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算(第1号)について
組合長提出議案第12号	羽咋郡市広域圏事務組合看護師等修学資金貸与条例の制定について
組合長提出議案第13号	羽咋郡市広域圏事務組合消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正について
組合長提出議案第14号	財産の取得について(普通消防ポンプ自動車購入)
組合長提出議案第15号	財産の取得について(高規格救急自動車購入)
組合長提出報告第1号	平成21年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算(第4号)の専決処分の報告について
組合長提出報告第2号	平成21年度ふるさと振興事業特別会計補正予算(第2号)の専決処分の報告について
組合長提出報告第3号	平成21年度公立羽咋病院事業会計補正予算(第2号)の専決処分の報告について
組合長提出報告第4号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

- 組合長提出報告第 5号 職員の勤務時間、休日等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について
- 組合長提出報告第 6号 職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について
- 組合長提出認定第 1号 平成21年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計歳入歳出決算認定について
- 組合長提出認定第 2号 平成21年度ふるさと振興事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 組合長提出認定第 3号 平成21年度公立羽咋病院事業会計決算認定について

説明のため出席した者の職氏名

組 合 長	山 辺 芳 宣	副 組 合 長	津 田 達
副 組 合 長	小 泉 勝	参 画 者	辻 角 邦 昭
事 務 局 長	石 山 孝 司	事務局次長兼総務課長	松 田 純
会計管理者兼出納室長	山 本 張 喜	環 境 保 全 課 長	大 正 路 哲 郎
環 境 保 全 課 参 事	津 田 保	消 防 長	田 頭 善 彦
消 防 本 部 次 長	泉 克 芳	消 防 本 部 警 防 課 長	山 田 政 一
消 防 本 部 予 防 課 長	村 田 登 喜 男	羽 咋 消 防 署 長	楠 喜 久 男
宝 達 志 水 消 防 署 長	丸 山 正 一	志 賀 消 防 署 長	坂 井 茂
病 院 事 務 長 兼 庶 務 課 長	清 水 久 範	病 院 医 事 課 長	勝 田 秀 一
羽 咋 市 総 務 課 長	今 井 和 秀	志 賀 町 総 務 課 長	寺 尾 隆 之
宝 達 志 水 町 総 務 課 長 補 佐	村 井 仁 志		

委員会委員選任名簿

総務厚生常任委員会委員選任名簿

平成22年8月17日

総務厚生常任委員会	塩谷 久司
-----------	-------

議会運営委員会委員選任名簿

平成22年8月17日

議会運営委員会	中村 孝清
---------	-------

なぎさ特別委員会委員選任名簿

平成22年8月17日

なぎさ特別委員会	塩谷 久司
----------	-------

決算特別委員会委員選任名簿

平成22年8月17日

決算特別委員会	中村 孝清	新田 義昭
	守田 幸則	北本 俊一
	山本 辰榮	稲村 幸雄

議案付託表

付託委員会	番号	付託議案
総務厚生常任委員会	1	議案第11号 平成22年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算(第1号)について
	2	議案第12号 羽咋郡市広域圏事務組合看護師等修学資金貸与条例の制定について
	3	議案第13号 羽咋郡市広域圏事務組合消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正について
	4	議案第14号 財産の取得について (普通消防ポンプ自動車購入)
	5	議案第15号 財産の取得について (高規格救急自動車購入)
	6	報告第1号 平成21年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算(第4号)の専決処分の報告について 第1条 歳入 1款1項、2款1・2項、5款1・2項、8款2項 歳出 1款1項、2款1・2項、3款1・2項、5款1項、6款1項
	7	報告第2号 平成21年度ふるさと振興事業特別会計補正予算(第2号)の専決処分の報告について
	8	報告第3号 平成21年度公立羽咋病院事業会計補正予算(第2号)の専決処分の報告について
	9	報告第4号 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について
	10	報告第5号 職員の勤務時間、休日等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について

総務厚生常任委員会	1 1	報告第 6 号	職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について
なぎさ特別委員会	1	報告第1号	平成 2 1 度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計予算（第 4 号）の専決処分の報告について 第 1 条 歳入歳出のうち 歳入 1 款 1 項（ 4 目に限る。）、 8 款 2 項（商工費雑入に限る。） 歳出 4 款 1 項
決算特別委員会	1	認定第 1 号	平成 2 1 年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計歳入歳出決算認定について
	2	認定第 2 号	平成 2 1 年度ふるさと振興事業特別会計歳入歳出決算認定について
	3	認定第 3 号	平成 2 1 年度公立羽咋病院事業会計決算認定について

委員会審査結果

総務厚生常任委員会

番 号	付 託 議 案	結 果	理 由
議案第 1 1 号	平成 2 2 年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算（第 1 号）について	原案可決	妥当と認む
議案第 1 2 号	羽咋郡市広域圏事務組合看護師等修学資金貸与条例の制定について	原案可決	妥当と認む
議案第 1 3 号	羽咋郡市広域圏事務組合消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決	妥当と認む
議案第 1 4 号	財産の取得について （普通消防ポンプ自動車購入）	原案可決	妥当と認む
議案第 1 5 号	財産の取得について （高規格救急自動車購入）	原案可決	妥当と認む
報告第 1 号	平成 2 1 年度羽咋郡市広域圏事務組合一般会計補正予算（第 4 号）の専決処分の報告について 第 1 条 歳入歳出のうち 歳入 1 款 1 項、2 款 1・2 項、 5 款 1・2 項、8 款 2 項 歳出 1 款 1 項、2 款 1・2 項、 3 款 1・2 項、5 款 1 項、 6 款 1 項	承認	妥当と認む
報告第 2 号	平成 2 1 年度ふるさと振興事業特別会計補正予算（第 2 号）の専決処分の報告について	承認	妥当と認む
報告第 3 号	平成 2 1 年度公立羽咋病院事業会計補正予算（第 2 号）の専決処分の報告について	承認	妥当と認む
報告第 4 号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承認	妥当と認む
報告第 5 号	職員の勤務時間、休日等に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承認	妥当と認む
報告第 6 号	職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承認	妥当と認む

なぎさ特別委員会

番 号	付 託 議 案	結 果	理 由
報 告 第 1 号	平成 2 1 度羽咋都市広域圏事務組合一般会 計予算（第 4 号）の専決処分の報告につい て 第 1 条 歳入歳出のうち 歳入 1 款 1 項（4 目に限る） 歳出 4 款 1 項	承 認	妥当と認む

委員会正副委員長当選結果報告

平成22年8月17日

羽咋郡市広域圏事務組合議会

議長 浅野俊二 殿

なぎさ特別委員会

委員長 守田幸則

副委員長当選結果報告書

8月17日、本委員会で副委員長の互選を行った結果、下記のとおり当選したので報告します。

記

副委員長 塩谷久司

---

平成22年8月17日

羽咋郡市広域圏事務組合議会

議長 浅野俊二 殿

決算特別委員会

委員長 中村孝清

正副委員長当選結果報告書

8月17日、本委員会で正副委員長の互選を行った結果、下記のとおり当選したので報告します。

記

委員長 中村孝清

副委員長 山本辰榮

議決一覧表

議決番号	議案番号	件名	議決年月日	結果	備考
議決第11号	組合長提出 議案第11号	平成22年度羽咋都市広域圏 事務組合一般会計補正予算 (第1号)について	22.8.17	原案可決	
議決第12号	組合長提出 議案第12号	羽咋都市広域圏事務組合看護 師等修学資金貸与条例の制定 について	22.8.17	原案可決	
議決第13号	組合長提出 議案第13号	羽咋都市広域圏事務組合消 防本部及び消防署の設置等 に関する条例の一部改正に ついて	22.8.17	原案可決	
議決第14号	組合長提出 議案第14号	財産の取得について (普通消防ポンプ自動車購入)	22.8.17	原案可決	
議決第15号	組合長提出 議案第15号	財産の取得について (高規格救急自動車購入)	22.8.17	原案可決	
議決第16号	組合長提出 報告第1号	平成21年度羽咋都市広域圏 事務組合一般会計補正予算 (第4号)の専決処分の報告 について	22.8.17	承認	
議決第17号	組合長提出 報告第2号	平成21年度ふるさと振興事 業特別会計補正予算(第2号 )の専決処分の報告について	22.8.17	承認	
議決第18号	組合長提出 報告第3号	平成21年度公立羽咋病院事 業会計補正予算(第2号)の 専決処分の報告について	22.8.17	承認	
議決第19号	組合長提出 報告第4号	職員の育児休業等に関する条 例の一部を改正する条例の専 決処分の報告について	22.8.17	承認	
議決第20号	組合長提出 報告第5号	職員の勤務時間、休日等に 関する条例の一部を改正する 条例の専決処分の報告について	22.8.17	承認	
議決第21号	組合長提出 報告第6号	職員団体のための職員の行為 の制限の特例に関する条例の 一部を改正する条例の専決処 分の報告について	22.8.17	承認	

	組合長提出 認定第1号	平成21年度羽咋郡市広域圏 事務組合一般会計歳入歳出決 算認定について	22.8.17	継続審査	
	組合長提出 認定第2号	平成21年度ふるさと振興事 業特別会計歳入歳出決算認定 について	22.8.17	継続審査	
	組合長提出 認定第3号	平成21年度公立羽咋病院事 業会計決算認定について	22.8.17	継続審査	

議会選挙結果等一覧表

番号	件名	選挙等の 年月日	選挙の 方法	当選人等	備考
	決算特別委員会委員 の選任	22.8.17	議長指名	中村孝清 新田義昭 北本俊一 守田幸則 山本辰榮 稲村幸雄	
	総務厚生常任委員会 委員の補充選任	22.8.17	議長指名	塩谷久司	
	議会運営委員会委員 の補充選任	22.8.17	議長指名	中村孝清	
	なぎさ特別委員会委 員の補充選任	22.8.17	議長指名	塩谷久司	

閉会中の継続調査申出書

平成22年8月17日

羽咋郡市広域圏事務組合議会  
議長 浅野俊二 殿

総務厚生常任委員会  
委員長 山本辰榮

閉会中の継続調査申出書

本委員会は、所管事務のうち次の事件について閉会中の継続調査を要するものと決定したので申し出ます。

記

- 事件 (1) 行政事務の改善に関する事  
(2) 消防業務の充実に関する事  
(3) 環境衛生業務の充実に関する事  
(4) 医療業務の充実に関する事

理由 調査未了のため

---

平成22年8月17日

羽咋郡市広域圏事務組合議会  
議長 浅野俊二 殿

議会運営委員会  
委員長 北 信幸

閉会中の継続調査申出書

本委員会は、所管事務のうち次の事件について閉会中の継続調査を要するものと決定したので申し出ます。

記

- 事件 (1) 次期定例会の会期、日程等に関する事  
(2) 議会の運営に関する事  
(3) 議長の諮問に関する事

理由 調査未了のため

職務のため出席した事務職員

議会事務局長 山 本 実

書記 森 田 久 雄

地方自治法第 1 2 3 条第 2 項の規定により署名する。

羽咋郡市広域圏事務組合議会議長 浅 野 俊 二

羽咋郡市広域圏事務組合議会議員 山 本 辰 榮

羽咋郡市広域圏事務組合議会議員 北 信 幸

羽咋郡市広域圏事務組合議会議員 中 村 孝 清